

平成21年 甲州市議会 9月定例会

市政の概要

平成21年9月定例会市議会の開会にあたり議員各位には、提案いたしました議案のご審議をいただくことに対しまして、心から感謝と敬意を表する次第であります。

提案いたしました議案の概要を申し上げますとともに、市政の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

主要な施策の概要について

新型インフルエンザ対策について

初めに、世界各地で感染が広がっている新型インフルエンザ対策についてであります。

8月26日、県は、県内感染者が増え続けており、インフルエンザの流行シーズンに入ったと発表いたしました。

県では、手洗いやうがいなど、個人でできる予防策の励行や咳などの症状が出た場合のマスク着用など、咳エチケットを守ることを呼びかけております。

また、発熱外来を終了し、原則として全ての医療機関において、発熱患者の診療を行うことに改められました。

医療機関で受診される場合には、電話連絡の上、その指示にしたがっていただくこととなります。

今回の新型インフルエンザは、基礎疾患を有する方や妊婦、乳幼児が重症化するリスクが高いとのことであります。感染が疑われる場合には、早期受診、早期治療に心がけていただきますようお願いいたします。

市民の皆様には、広報や学校、職場等を通じて、新型インフルエンザの正しい知識や感染予防対策等についてお知らせするとともに、相談窓口を設置して様々な相談に応じて参りました。

今後とも、市民の健康を守り、安心して生活ができるよう全力を挙げて取り組んで参る所存でありますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

「開かれた市政」の推進について

次に、開かれた市政の推進についてであります。

市が設置する附属機関等の活性化と公正で透明性の高い、開かれた市政を推進するため「審議会等の設置及び運営等に関する基本指針」及び、これに伴う「審議会等の会議の公開に関する基準」を制定いたしました。

市民の皆様には、積極的に審議会等に参画していただくとともに市政に対する理解と関心をより深めていただくことを期待いたしているところであります。

財政健全化について

次に、財政健全化についてであります。

財政の健全化は、甲州市の将来にとって大変重要な課題であります。特に、実質公債費比率が、平成17年度には20.1%と健全化の基準である18%を大きく上回っていたことから、公債費負担の適正化に取り組んで参りました。

その結果、平成20年度決算では、実質公債費比率が17.8%と目標とした平成24年度を待たずに改善することができました。

今後も財政健全化への努力を緩めることなく、取り組んで参る所存であります。

国の緊急経済対策について

次に、国の緊急経済対策への対応についてであります。

地域活性化・経済危機対策 臨時交付金の本市への交付限度額 4億3千万円余のうち、6月議会で2億3千万円余、13事業について予算措置を行いました。残る1億9千万円余、9事業について今議会に補正予算を提案いたしております。

また、雇用情勢が厳しい状況にある中で離職を余儀なくされた非正規労働者や中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を提供するため、「緊急雇用創出事業」を活用した、宮光園資料整理業務など10事業について補正予算を今議会に提案いたしております。

塩山駅のバリアフリー化について

次に、塩山駅のバリアフリー化についてであります。

これまで多くの市民の皆様から要望をいただいております塩山駅へのエレベーター設置につきましては、ＪＲ東日本及び県と協議した結果、実施することで合意いたしました。

駅構内の上下線ホームへのエレベーターの設置は、ＪＲ東日本が行い、自由通路の南口、北口へのエレベーターは、市が設置することとしております。

このため、本年度基本設計を行い、平成２３年度の完成を目指して整備を進めて参ります。

基本設計費のほかＪＲ東日本への補助金について、今議会に提案をいたしております。

県立射撃場の移転整備について

次に、県立射撃場の移転整備についてであります。

現在、県では防災施設工事及びアクセス道路の工事に先立ち、一連の工事が円滑に進められるよう地元に対し事業日程等について説明を行っており、年内にも工事に着手する予定であります。

また、射撃場建設用地につきましては、旧塩山土木事務所用地との等価交換を前提に協議を進めており協議が整い次第、契約を締結することとしております。

残りの用地の活用につきましては、「甲州市里山創造推進協議会」を設置し、貴重な森林資源の管理計画を策定するとともにその整備を進めて参ります。

子育て支援について

次に、子育て支援についてであります。

平成２０年度に引き続いて実施される子育て応援特別手当につきましては、対象児童が、第一子まで拡大されたことに伴い、約８５０人に支給するための補正予算を今議会に提案をいたしております。

また、近年増加傾向にある家庭相談業務のケース記録をデータベース化し、個人情報の取り扱いに配慮する中で配偶者からの暴力、育児放棄などさま

ざまなケースを支援することとしております。

更に、民間保育園の園舎の修繕に対し助成をするとともに地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、市内の児童公園など約70箇所及び都市公園6箇所にある危険遊具の撤去やリニューアルを行い、安全な地域子育て環境を整備して参ります。

また、放課後児童クラブの更なる充実を図るため、緊急雇用創出事業を活用して、指導員の増員を行うこととしております。

学校教育の振興について

次に、学校教育の振興についてであります。

平成18年度から学習障害や注意欠陥・多動性障害等の児童生徒に対して、子ども支援スタッフによる習熟度に応じた学習を実施して参りました。

なお一層の充実を図るため、緊急雇用創出事業を活用して「学習支援講師」を5名、「特別支援員」を1名増員し、総勢19名の支援スタッフによる、きめ細やかな指導を進めて参ります。

また、地域住民が学校を応援し、子どもたちの健全育成を目的とした「学校支援ボランティア事業」につきましては、各地域の区長さんをはじめ、公民館、育成会、PTAなど関係団体の皆様にご理解・ご協力をいただき順調に活動が進められております。

今後とも地域と学校が一体となって、甲州市の教育の充実を図って参ります。

観光振興について

次に、観光振興についてであります。

本年の観光客入込み状況につきましては、春先から続く天候不順や景気低迷、新型インフルエンザの影響などから減少傾向が続いております。

このため、関係団体等と連携して首都圏や中京圏におけるキャンペーン活動を展開するとともに、各種の宣伝・情報媒体を活用して誘客の促進に努めているところであります。

こうした中、8月16日に開催した第45回大菩薩峠登山競走大会には、県外を中心に800人余りの参加者があり、成功裏に終了いたしました。

現在、秋のイベント開催に向けて準備を進めているところであります。
また、観光施設整備につきましては、近代産業遺産整備事業をはじめ、ぶどう郷駅前が多目的トイレ等の整備を進めているところであります。

農業振興について

次に、農業振興についてであります。

市では、優良農地等の保全・確保を図るため「農業振興地域整備計画」を策定して参りましたが、県の同意を得たことから、現在、公告・縦覧を行っているところであります。

今後は、この計画に基づき、総合的かつ計画的な農業振興を進めて参ります。

また、有害鳥獣防護柵設置事業につきましては、今年度実施計画のうち塩山竹森地区の延長2千660メートルの工事に着手したところでありますが、他の地域につきましても早急を実施して参ります。

都市計画について

次に、都市計画についてであります。

市民の皆様が快適で安心して暮らすことができる甲州市を目指し、将来計画を見据えた都市施設の機能の充実を図るため、今年度は「まちづくり」に向けたスタートの年と位置づけ、5月30日に開催した都市計画マスタープラン推進シンポジウムを皮切りに、各地域市民懇談会などを通じて、都市計画マスタープランの推進に努めて参りました。

「まちづくり」の方針を市民の皆様にご理解をいただく中で各種計画を推進していくためには、周知の機会と時間が必要であります。

このため、宝くじ助成事業を活用して来年3月に、塩山駅南側地域の課題や市庁舎移転による街の機能を考える機会として、この地域を市民の皆様と歩き、まちを見て、まちを語り、まちづくりの糧とする第2弾のシンポジウムを実施することといたしております。

また、公共水域の水質保全を図るため緊急雇用創出事業を活用し、下水道の接続率向上や浄化槽設置促進の普及活動を実施して参ります。

道路等の基盤整備について

次に、道路等の基盤整備についてであります。

地域の皆様から要望のありました身近な市道、水路の整備につきましては、地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用して追加実施することとし、補正予算を今議会に提案をいたしております。

また、旧市町村名が残る案内板等についても改修費を計上いたしました。

雇用促進住宅の取得について

次に、雇用促進住宅の取得についてであります。

独立行政法人雇用・能力開発機構に要望していた住宅の修繕工事も完了したことから、土地建物を購入するための議案と甲州市営定住促進住宅設置及び管理条例を今議会に提案をいたしております。

今後は、現在入居されている方々と改めて入居契約を行うとともに、新たな入居者の公募を行い、甲州市営定住促進住宅として運営をしていくことと致しております。

民間木造住宅の耐震化について

次に、民間木造住宅の耐震化についてであります。

これまで、昭和56年以前に建築された民間の木造住宅の無料耐震診断及び耐震改修工事への助成を行って参りましたが、地震発生時における木造住宅の倒壊等による被害を防止するため、新たに建替えを行った場合や耐震シェルターの設置をした場合にも補助対象とすることといたしました。このための補助金として補正予算を今議会に提案をいたしております。

さて、私にとりましても議員各位にとりましても今定例市議会が任期最後の議会であります。

議員の皆様とともに歩んできた4年間に顧みますと旧3市町村それぞれの地域において培ってきた伝統を礎として一体化の醸成を図りつつ、新しい甲州市の基礎づくりに取り組んで来た日々でありました。

ご案内のように三位一体改革の後、地方財政全体が厳しい状況に置かれる中で本市財政も市税の落ち込みや各種交付金の減少など、厳しい財政運営を強いられております。

このため、平成18年には「第一次行政改革大綱」を策定し、限りある人材、財源を最大限に有効活用して、質の高い行政サービスを提供できる体制づくりに努めて参りました。

また、本市を取り巻く社会・経済情勢は、めまぐるしく変化を続けており合併前の予測に加え、数々の新たな行政課題に対応するため、昨年3月には、10年間のまちづくりの基本理念や具体的方針を定めた「第一次甲州市総合計画」を策定、市の将来像を「豊かな自然 歴史と文化に彩られた果樹園交流のまち 甲州市」とし、少子・高齢化社会への対応や、観光・産業の振興、教育・文化の振興など、優先度、緊急性を考慮しつつ、総合計画の推進に取り組んで参りました。

この間、市政に寄せられた市民の皆様をはじめ議員各位のご理解、ご協力に対し、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

私は、6月定例会市議会において、次期市長選への出馬を表明致しました。

多くの市民や団体の方々から出馬要請を賜り、身が引き締まる思いであるとともに感謝にたえないところであります。

皆様からの御要請に応え、甲州市総合計画の着実な推進を図っていくことこそが私に課せられた使命であると確信し、甲州市の更なる飛躍のために引き続き、その舵取りを果たして参りたいと決意を新たに致しております。

私の政治信念は、お年寄りが大切にされ、若者が元気に働き、子どもたちの明るい声が聞こえ、自然環境や文化的な景観が大切にされる住みよい街をつくることでもあります。

また、まちづくりの基本姿勢は、清潔・公正・公開による市民参画の街づくりであり、この基本姿勢は、いささかも変わるものではありません。

今後、残された任期を市政執行のため、全力を尽くして参る所存であります。

再び、議員の皆様とこの議場で再会し、これからの甲州市発展のために市政運営の両輪となっていくことを切に願っているところであります。

以上、市政に対する所信の一端と主要な施策の概要、そして任期満了後、引き続き 市政の舵取りとして、取り組む決意を申し述べさせていただきましたが、議員各位をはじめ市民の皆様方の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。